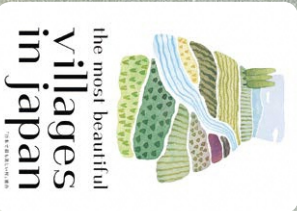


# 議会だより

No.142  
令和6年2月1日

松崎



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

## 《主な内容》

### 第4回定例会 (12月5日～12月7日)

一般会計補正予算など.....	2
常任委員会視察研修.....	5
住民懇談会.....	6
町政を問う 一般質問に5議員.....	7

〔消防団出初式―放水〕



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。



# 令和5年第4回定例会

令和5年第4回定例会が12月5日から7日までの3日間で開催されました。  
今回の定例会では、一般会計補正予算など26議案について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 一般会計 補正予算

補正予算(第5号)は、歳入歳出に8475万9千円を増額して補正後の額を42億4596万9千円(2.0%増)とした。

### 《歳入の主なもの》

#### ○増額分

- ・自立支援給付金や社会保障・税番号制度システム整備などに伴う国庫支出金
- ・地方交付税(未計上分)
- ・前年度繰越金(確定額)
- ・緊急自然災害防止対策事業債などの町債

#### ○減額分

- ・県営事業軽減交付金などの県支出金
- ・財政調整基金(歳入歳

出差額の余剰金分)

### 《歳出の主なもの》

#### ○増額分

- ・町道などの維持・補修、長八美術館屋上の補修、松崎中学校空調設備などの工事費
- ・自立支援給付費
- ・訪問給食サービス業務委託料
- ・職員人件費

#### ○減額分

- ・鮎川地区基盤整備事業負担金(事業の遅れ)
- ・西豆衛生プラント組合負担金
- ・水道事業会計補助金
- ※戸籍情報システム改修事業や道路工事など13事業を令和6年度への繰越明許とした。

**問** 議会の住民懇談会で、公式LINEアカウントの活用に関する要望があった。既に活用している市町もあり、情報収集に大変便利だという声があるが、町でもできないか。

**答** 企画観光課長 町でもLINEの活用は検討している。情報発信については、限られた職員の中でどこまでの情報を流すか検討し、改善していきたい。

**問** 高齢者のスマートフォン普及促進事業の補助に關しては需要がなかったのか。

**答** 企画観光課長 50人分を予算計上していたが、10月末時点で8人の実績だった。

**問** 入札により電気料の削減を図る考えはないか。

**答** 総務課長 以前、見積り合わせを行ったことがあるが、高騰により新規受け入れ先がない。

**問** 工事発注の平準化を図るための繰越事業は何件あるのか。

**答** 産業建設課長 町道皆毛線舗装補修事業など3本の工事を今回補正して繰越、発注する予定。

## その他の 補正予算

◎国民健康保険特別会計  
補正予算(第1号)

産前産後期間国民健康保険税免除措置に伴うシステム改修費と人事院勧告に伴う会計年度任用職員の給与などの補正をした。

◎水道事業会計補正予算(第2号) および温泉事業会計補正予算(第2号)

いずれの事業会計も、収益的収入支出の支出について、人事院勧告に伴う人件費の増額があったが、電気料金が見込みより高騰しなかったため減額となった。

その他、水道事業会計においては、支出の減額に伴い、収入から一般会計からの補助金1240万円を減額し、資本的収入支出の支出について、工事請負費500万円を増額した。

**問** 入谷地区の昨年の災害以降の水道水白濁の解消見込みは。

**答** 生活環境課長 業者と調査を行い、原因範囲を把握。今後、業者に協力してもらい、必要であれば、予算をとって調査する。

◎集落排水事業特別会計  
補正予算

岩地・石部・雲見それぞれ集落排水事業の補正予算(第1号)の内容は、令和5年度で指定管理が終了し、新たに指定管理者を指定することに伴い、令和6年度から5年間の指定管理料の債務負担行為額を補正した。

## 条例

◎松崎町下水道事業の設置等に関する条例の制定

令和6年4月1日付け

で、岩地、石部、雲見の集落排水事業が特別会計から公営企業会計に移行することに伴い、新たな条例を制定する。

併せて、それぞれの排水処理施設の設置及び管理に関する条例を改正し、財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する。

◎松崎町国民健康保険税条例の一部改正

関係法令の改正により、産前産後に関わる所得割額および均等割額を減額する制度が創設されたため、令和6年1月1日から条例を改正する。

◎重要文化財岩科学校条例および伊豆の長八美術館の設置及び管理等に関する条例の一部改正

いずれも令和6年4月1日から木曜日を休館日とするともに、団体の定義を30人以上から20人以上に改正する。

◎松崎町観光・文化施設旧依田邸の設置及び管理に関する条例の一部改正  
旧依田邸の営業時間および旧依田邸と依田之庄の休業日を現状の運用に合わせたものに改正する。

◎松崎町公共工事等分担金条例の一部改正

公共工事などに対して受益者負担が生ずる事業のうち、急傾斜地崩壊対策事業の分担金の率を50%から20%に改正する。

◎松崎町消防団条例の一部改正

人口減少、若年者の町外流出および少子高齢化に伴い、消防団員の確保が困難となったため、消防団員の定年制を令和6年4月1日に廃止する。

## その他

◎公の施設の指定管理者の指定について

・総合福祉センター  
指定管理者にこれまで同様、松崎町社会福祉協議会を指定するもの。

・岩地・石部・雲見  
集落排水処理施設指定管理者にこれまで同様、それぞれの地区の排水処理施設管理組合を指定するもの。

※いずれも、委託期間は令和6年4月1日から5年間。



議場の様子

## 第4回臨時会

11/27

◎松崎町職員の給与に関する条例の一部改正

令和5年の人事院勧告において、国家公務員の月例給および特別給について引き上げるよう勧告があったことから、人事院勧告に基づき、職員の給与および特別給を改正。

◎松崎町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部改正

令和5年の人事院勧告による職員の期末勤勉手当の引き上げに合わせて、特別職の期末手当の支給月数を0・1月引き上げる改正。

**問** 町民生活の改善のな  
い状況。特別職の手当は、  
町の状況に合わせて対応  
するものと考えているか。

**答** 総務課長 住民税の  
納税義務者の給与は約  
0・6%程度上昇してお  
り、改善傾向にある。

### 反対討論

特別職は、町の状況に合わせて対応するものと考えている。

町民の生活の改善がされていない今、引き上げるのは、妥当ではない。

### 賛成討論

・町民生活が厳しいことは確かだが、コロナ禍を終え、国内経済も回復傾向にある。月例給を据え置きにしたことは、町民生活の状況への配慮と理解する。

・これから国全体が賃上げという流れの中で、わが町内も、その方向に持っていないといけない。その先駆けとして、特別職から上げていくことも大切。

その他

◎静岡県市町総合事務組合規約の一部変更

組合の構成団体である浜名湖競艇企業団が、令和6年4月1日から名称を「浜名湖ボートレース企業団」に変更することに伴う変更。

◎人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の眞野集氏（南郷）が令和6年3月31日で任期満了となるが、委員として適任であるため、再度、法務大臣に推薦することについて同意したものの、引き続き任命された場合の任期は令和6年4月1日からの3年間となる。



第4回臨時会・第4回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第4回臨時会	議案第69号	松崎町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	×	×	○	原案可決
	議案第70号	松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第4回定例会	議案第71号	松崎町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号	岩地漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第73号	石部農業集落排水処理施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	雲見漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	重要文化財岩科学校条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第77号	伊豆の長八美術館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号	松崎町観光・文化施設旧依田邸の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号	松崎町公共工事等分担金条例の一部を改正する条例について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第80号	松崎町消防団条例の一部を改正する条例について	○	—	○	×	○	○	○	原案可決
	議案第81号	岩地漁業集落排水処理施設財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第82号	石部農業集落排水処理施設財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第83号	雲見漁業集落排水処理施設財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第84号	令和5年度松崎町一般会計補正予算（第5号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第85号	令和5年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第86号	令和5年度松崎町水道事業会計補正予算（第2号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第87号	令和5年度松崎町温泉事業会計補正予算（第2号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第88号	令和5年度松崎町岩地集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第89号	令和5年度松崎町石部集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第90号	令和5年度松崎町雲見集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第91号	公の施設の指定管理者の指定について（松崎町総合福祉センター）	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第92号	公の施設の指定管理者の指定について（岩地漁業集落排水処理施設）	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第93号	公の施設の指定管理者の指定について（石部農業集落排水処理施設）	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第94号	公の施設の指定管理者の指定について（雲見漁業集落排水処理施設）	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第95号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	—	○	○	○	○	○	適任答申

賛成：○ 反対：× 欠席：—



## 総務常任委員会 視察研修

### 東日本大震災 被災地視察

10月10日から3日間、  
当町における防災・減災  
の参考とするため、岩手  
県山田町・陸前高田市・  
釜石市を視察した。

#### 岩手県山田町

山田町では、東日本大  
震災の防災・減災および  
復興などについてのほか、  
道の駅の整備・運営につ  
いて、当時の防災担当者  
を含め、町職員から震災  
復興状況や震災後の地震  
・津波対策および減災計  
画についての話を聞き、  
その後、当町議員から個  
別に質問を行った。

震災では、既存の防潮  
堤（重力式Ⅱ自重で耐え  
る方式）が倒壊したため、  
防災・減災対策では、約  
10～13メートルの新防潮  
堤（直立堤・傾斜堤Ⅱ地  
中に杭を打ち込む方式・



震災復興などの説明（山田町）

巨大な丘を作る方式）を  
町全体で整備し、さらに  
「かさ上げ地」を防潮堤  
と既存住宅地との間に整  
備することで、防潮堤を  
越水した津波をせき止め、  
避難の時間を稼ぐ対策を  
行っていた。また、学校  
や病院、消防署、警察署  
などを高台に移転し、公  
共施設の機能を一カ所に  
集約させた「公共防災エ  
リア」を整備していた。

#### 陸前高田市

陸前高田市では、「高田  
松原津波復興祈念公園・  
東日本大震災津波伝承館」  
を視察。

高田松原津波復興祈念  
公園では、「奇跡の一本松」  
などの震災遺構を見学し  
た。かつて街並みが広がっ  
ていた場所が平地となっ  
ている光景を目の当たり  
にし、改めて災害の被害  
の大きさを実感した。

東日本大震災津波伝承  
館は、東日本大震災津波  
の事実と教訓を共有し、  
津波を乗り越えて進む姿  
を発信する施設として令  
和元年に開館した。

館内には、解説パネル、  
写真、動画、被災した実  
物資料、被災者の証言な  
どが展示されているが、  
中でも津波の実写映像は  
津波の脅威を鮮明に記録  
しており、津波被害の恐  
ろしさを改めて感じさせ  
るものであった。

#### 釜石市

釜石市では、「いのち  
をつなぐ未来館」を視察。

この施設は、平成31年  
にオープンした防災学習  
施設で、震災の記憶と教  
訓の継承、市の子どもた  
ちが震災以前から取り組  
んできた防災教育の普及  
を行う役割を担っている。

ここでは、ガイドスタッ  
フによる震災当時の状況  
や実体験に基づく避難行  
動などの解説のほか、子  
どもを中心とした防災学  
習プログラムの提供など  
が行われている。

実際に震災を経験した  
館内ガイドからは、震災  
時の被害の状況や避難の  
様子、復興後の災害対策  
などについて、生の声を  
聞くことができた。

体験談からは、日頃か  
ら安全な避難場所をしっ  
かり確認しておくことで、  
助かる確率が大きくなる  
こと、地元の小中学生の  
避難において、「早く」、「  
より高いところへ」とい



いのちをつなぐ未来館（釜石市）

うことを常に意識してい  
たことで被害を免れたこ  
となどが印象深かった。  
当町でも定期的に防災  
訓練は実施しているが、  
いざというときに迷わず、  
自然に体が動くように備  
えなければならぬと感  
じた。特に、「どこに逃  
げるか」を常に考えてお  
くことが重要だというこ  
とを改めて感じた。

今回の視察は、防災・  
減災がテーマであり、東  
日本大震災の教訓の多く  
を学ぶことができた。来  
る南海トラフ地震に備え、  
災害に強いまちづくりを  
進めるために、当町議会  
も防災対策への助言・提  
案を検討していきたい。

伊豆の国市斎場  
「なまき 椰もりの杜」

西伊豆町と一部事務組合を設置し、斎場の整備を進めるにあたり、最新の斎場の性能や環境への影響などを学ぶため、10月22日に西伊豆町議会議員と合同で視察を実施。

椰の杜は、令和3年4月に供用開始された。

建設の経過としては、以前に使用されていた斎場が、昭和58年に竣工されたもので、施設の老朽化やスペースなど長期的な展望に基づいた対策が求められていた。



施設内の様子

斎場整備基本構想の策定にあたっては、伊豆市との共同利用なども検討されたが、課題も多く単独整備となった。

新火葬場基本計画策定にあたっては、市民の声を取り入れ、施設の基本的な検討を行うために、識見を有する者、関係区の推薦者、公募市民など9人およびオブザーバーとして仏教会を含めた11人の検討委員会を設置し、検討を行った。

施設整備にあたっては、「周辺に配慮した潤いある施設づくり」を基本方針に傾斜や周辺の樹林を生かした造りになっており、室内も炉機械室内の空気を活用し、暖房空調負荷の軽減を図る造りになっている。

事業費は約19億7千万円で、設備は火葬炉3基、ペット炉1基、霊安室、待合室3部屋、多目的室、キッズルーム、給湯室、駐車場（普通車72台・中型バス2台）を整備。

住民懇談会（11月10日開催）

行政への要望など、積極的な議会（議員）活動をしていくため、住民の皆さまの率直な意見や要望を聞く場として、町議会主催の住民懇談会を開催しました。

当日は、13人の方にご参加いただき、2つのグループに分かれ、個々に町と議会への要望事項などを書き出し、発表を行い、意見のとりまとめなどグループワークを行い、最後に全体で情報共有をしました。



参加者の皆さまからいただいた意見・要望については、とりまとめ、町長に報告させていただきますが、我々も皆さまからいただいた意見・要望を真摯に受け止め、議員活動に生かしていきたいと思っています。

今後も懇談会を開催し、より多くの皆さまのご意見を聞いていきたいと思っておりますので、次回開催の際には、ご参加いただけますと幸いです。

参加者の主な意見（一部抜粋）

要望先	分野	内容
町	学校教育	今後、今より不安視される教育に対して、実際の子どもや保護者の意見を拾っていく必要があると思う。
	防災	災害時の町の指揮所の場所について、現在の役場の場所は大災害時、指揮できないと考える。
	施設管理	棚田の水車小屋に関して、昨年度より老朽化が問題視されていた。ブルーシートのままで気になった。
	情報発信	松崎町公式LINEアカウントがあるのに何も活用されていない。上手に活用できないものか。
	情報発信	大きい事業などの進捗状況を都度知らせてほしい。（津波対策、医療対策、協力隊の状況も）
	情報発信	町内で利用されている回覧板をもっと広く活用したい。官と民の情報交換とか。二つに分けるとか・・・。
議会	懇談会	幅広い年齢からいろいろな意見を聞く機会を設けてほしいと思う。
	取り組み	議会の役割をどうとらえているのか。

## 問 医院の開設は

## 答 代替案の検討継続中

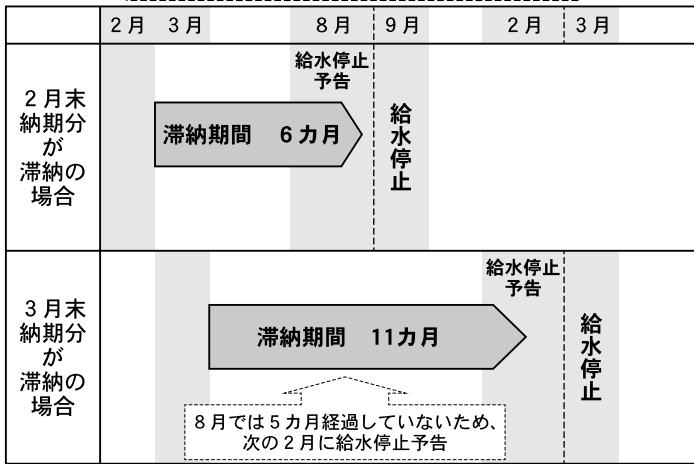


高柳孝博 議員  
たかなぎ たかひろ



### 給水停止までのイメージ

- 5カ月以上滞納がある人が対象
- 給水停止予告は「8月」と「2月」の年2回



年に2回の給水停止では、最大11カ月の滞納が生じる恐れがある

給水停止処分は公平か

**問** 診療所を町が設置した場合、松崎だけがよければということになるか。

**答** (町長) そういったことではない。松崎町だけで設置運営は困難であり見直す。

**問** 町内の診療所がなくなるかもしれないという危惧に対する解消施策の成果はあるか。

**答** (町長) 賀茂地域の中で医療をどうするか関係者と話している。

**問** 災害時の医療の確保対策をどう考えるか。

**答** (町長) 災害時は十分ではない。東南海トラフ地震では、自衛隊、DMATに係る代替の医師派遣なども関係各位と相談している。

**問** 民間の開院を支援する理由は何か。

**答** (町長) 場所の選定とか財政にかかわらない部分での支

援を考えている。相手先の希望が分からない時点ではお答えできかねる。

**問** 事務処理不適切は

**答** 確実な処理確認で

**問** 海洋センターの不適切処理が発生した原因をどう考えるか。

**答** (教育長) 今回の原因は、第一に速やかな事務処理を怠ったこと、第二に業務のチェックが適切に行えなかったことである。

**問** なぜできなかったかを対策しなければ再発防止にならないのでは。

**答** (教育委員会事務局長) 職員各自が自覚をもって行い、管理職としてはそれを促すとともに声掛けをするとか、確実な処理がなされているかの確認をさらに引き締めに行っていく。

**問** 事務処理の管理簿、

領収書はあったのか。

**答** (教育長) 管理簿は保管されており、領収書は納入者に渡している。

**問** 水道の収納未済処理は

**答** 不公平とは思えない

**問** 年間2回の給水停止措置では、利用者に不公平とならないか。

**答** (町長) 年2回にまとめて行っている。いろいろな事情を勘案しながら、給水停止までの経過を含め、特段今までも不公平になっているように感じていない。

**問** 規約上は5カ月経ったら止める事になっていると思うが、5カ月を超える可能性はないか。

**答** (生活環境課長) 納入通知書の納付期限から5カ月以上経過したときということ、2月と8月に実施している。

一般質問



問

高齢者が安心して暮らせる町に

答

地域の支え合いが重要



藤井昭一 議員



問

高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らすためには「松崎版地域包括ケアシステム」を推進する必要がある。そのために町民ボランティアを育成することが必要と考えるがいかがか。

答（町長）

社会福祉協議会（以下「社協」という）の力を使ってボランティアの育成を進めたい。

問

松崎の社協は大変小

答

（健康福祉課長）

さな社協で、なかなか新しい事業をするのが難しいと思うが。

答（町長）

松崎の社協はコンパクトなので、隣の西伊豆町社協とも協力し、同事業であればなるべく連携しながら進めていきたい。

問

ハート&ヘルプ事業（※）が周知されていない。これを周知させる必要があると思うがどうか。

答

（健康福祉課長）

庭の草刈りやゴミ出しなど、有償ボランティアの制度でできることがある。必要な人が利用できるように工夫し周知を図っていきたい。

問

指定避難所の増設を

答

地区の公民館を活用

問

地震で津波被害があった時に避難タワーなど高台に避難した後の行動について、今の松崎町では指定避難所が足りず多くの人が混乱してしまうと考える。指定避難所の数をもっと増やしてもられないか。

答（総務課長）

中川地区、岩科地区の公民館などを活用できるように検討していきたい。

問

町内の指定避難所がどこにあるか町民が知っていないければならない。町のホームページなどを用いて周知してほしいがどうか。

答（総務課長）

津波ハザードマップなどで町民に周知できるように検討したい。

問

石部の防災無線は

答

電波障害を調査中

問

石部地区のほとんどの家庭において、防災無線個別受信機が電波障害を起こしており、広報まつぎの放送が聞こえない

い、もしくは途中で放送が途切れてしまうという状態であるが、町としてどう対処しているのか。

答（町長）

現在、防災無線の施工業者が調査および対応を検討しており、一刻も早く問題が解決するように進めているところである。先日にも津波注意報があり、その際も業者に連絡して催促したところである。

## ※ハート&ヘルプ事業について

高齢者や障害がある方など、生活で困っている方が利用できる有償ボランティアのサービスです。

### ■お願いできる事の一例

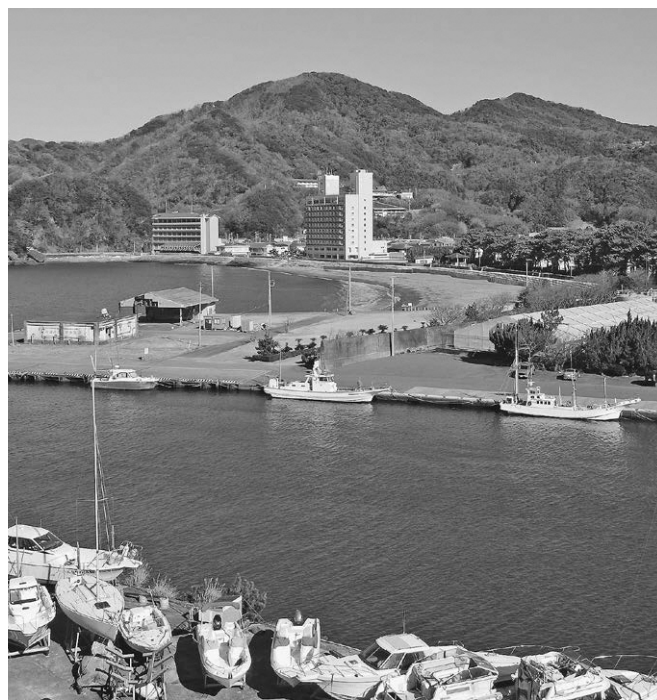
ゴミ出し、買い物、電球の交換など  
（サービスの利用料金は、10分につき100円でやっていただけます。）

ハート&ヘルプ事業は、地域の支え合いのサービスです。サービスを受けたい方と誰かの役に立ちたいボランティアを随時、募集しております。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先 松崎町社会福祉協議会  
電話 0558（42）2246





那賀川河口水門の整備はいつか。



高橋良延 議員



問

地震津波対策は進んだのか

答

33のアクションは達成できず

問 10年間の計画が終了した松崎町地震津波防災対策アクションプログラムの達成状況は。

答 (総務課長)

56のアクション(行動)のうち、33は目標に届かなかった。

問 未達成のものは今後どのように対応するのか。

答 (町長)

津波避難困難地区内への2基目の津波避難タワーは、現在南区と協議中であり、その他の空白地域についても設置場所について検討していく。

問 那賀川河口水門はいつ頃整備されるのか。

答 (産業建設課長)

県事業で河川整備計画を見直し、水門の整備方針が示される。早ければ防潮堤が、令和6年度から着工予定だが、水門は防潮堤の完成までには設計に入っていくとのこと。

問 災害時要支援者の個

別避難計画の作成は。

答 (健康福祉課長)

計画は未策定だが、平成29年度作成の要支援者名簿には、現在134人が登録されている。漏れなく調査するとともに計画は、県や近隣自治体に確認し進めたい。

問 公約の達成状況は

答 コロナ禍で困難

問 町長の任期の折り返しにあたり、選挙時の公約の達成状況は。

答 (町長)

4つの施策を掲げたが、新型コロナウイルスの感染症対策に追われ、課題解決に注力できなかった。コロナ禍の終息しつつあるなか、職員採用や人材育成により課題解決に着手できる環境になった。

問 今後2年間で、何を重点に取り組んでいくのか。町民の多くは、医療体制の充実を求めている

が、公約の新しい医療体制の構築の具体的な取り組みが見えてこないが。

答 (町長)

コンパッションタウン松崎を目指すべく取り組んでいく。新しい医療体制の構築は、2年間では難しいと考えているが、方針は示したいと思う。

問 不祥事の再発防止策は

答 指導・監督を徹底

問 町長就任以来、職員の不祥事や不適切な事務処理などが多いことの原因とその対策は。

答 (町長)

根本的な原因は、管理職による指導、監督が十分行き届いていなかったことや、職員間のコミュニケーションが取れていなかったことにある。今後は、管理職のマネジメント能力向上、組織体制整備に努め、職員間の円滑なコミュニケーションの実現を図っていく。

## 問 鮎川地区の活用計画は

## 答 ヘリポート、防災公園に



田中道源 議員



**問** グラウンドとして整備し、平常時はスポーツができるようにしてはどうか。

**答** (町長)

管理面、他の施設との兼ね合いの検討が必要だが、提案の一つと考える。

**問** サッカーチームのホームグラウンドがなく、練習や試合の調整が難しい現状を把握しているか。

**答** (町長)

職員の頃、チーム立ち

上げに関わっており、よく知っている。グラウンドの使用は町全体を対象にして考慮したい。

### 問 井戸水質調査の把握は

### 答 過去に調査、詳細不明

**問** 災害時に井戸の活用が重要だと考えるが、町内各地にある利用可能な井戸の確保のために、協力者に水質検査の補助金を出してはどうか。

**答** (総務課長)

防災井戸として活用を前提に負担について検討する。

### 問 通院利用も対象にしては

### 答 費用の増額が課題

**問** 岩科診療所の計画が見直しになって以来、具体的な代案が出ていないが、計画が定まるまでの間だけでも医療機関への交通手段として買い物等支援タクシの対象にすることを検討できないか。

**答** (町長)

現在の厳しい財政状況の中で助成の範囲を広げることが現時点で考えていない。

**問** 人件費を町で負担し既存事業者から運転手を年間契約で雇用する運営のやり方で、費用の固定化を図ることができると考えるが。

**答** (健康福祉課長)

車両の維持費や運行経

費がかかるので、人件費だけではかなり厳しいと想定される。

**問** 各事業者や他業種事業者がそれぞれの現状を把握し、使っていない時間の車両を融通し効率よく運行をすることはできないか。

**答** (健康福祉課長)

具体的なことは言えないが、西伊豆健育会病院で送迎バスを運行している事例がある。

**問** 課題に心を寄せる事業者同士で助け合いながら解決に向かうことこそ

**答** (町長)  
がコンパッションタウンではないか。

地域公共交通は、地域医療と並んで、インフラの一つである。全国で自動運転も含め実証実験の結果が積みあがってきている。国会ではライドシェアの問題が取り沙汰されている。日本では運輸の法律が厳しく、安全管理や運送業法の関係でハードルが非常に高い。介護施設の送迎など、海外的ライドシェアとは違う形で進めることができればと思う。



買い物等支援タクシーのイメージ





屋根が壊れシートを被った建物（石部棚田）



藤井 かなめ  
要 議員



問

債権回収に前向きに取組を

答

話をすべきと考えている

**問** 平成22年度までに返済予定の求償金1千万円余りがいまだに入金がなく、町は法的な措置により請求しているとの事だが、前回の質問より6カ月を経過し残金は回収されたのか。

**答**（町長）

話はしているものの、前に進んでいない。時効を止める意味から請求は続けている。

**問** 令和4年度末で1900万円ほどの残高があるが、返済期限を過ぎているので一括請求の手続きを取るべきではないか。

これとは別の事案で、9月には水道・温泉事業で530万円余りの特別損失を計上したのもあった。この求償金も返済の余地がないならば、毎年50万円余りの利息が付くので特別損失も考えるべきではないか。

**答**（町長）

しっかりと請求は続けているが、入金がない状態が続いているので、一度は話をすべきと自分も考えている。

**問** 防災公園の利活用を

**答** 未来に渡せる施設を

**問** 町には子どもから大人まで楽しめる公園がない。鮎川防災公園を災害時のヘリポート機能と合わせてサッカーやジョギング、また、親水公園を利用したキャンプ場など複合的に利用できるようにできないか。

**答**（町長）

取得予定の土地は、ヘリポートを備えた防災公園を整備する計画だが、伏倉橋からの進入路の整備状況を確認しながら、町民の意見も聞き計画を策定する。

**問** 石部の棚田には屋根が壊れブルーシートを掛けたままの建物が見られる。景観を損ねているが、修繕などの計画はないか。

石部の棚田には屋根が壊れブルーシートを掛けたままの建物が見られる。景観を損ねているが、修繕などの計画はないか。

**答**（企画観光課長）

材料や職人の確保などに時間が掛かったが、地域の人の協力もあって、水車小屋は3月末までに、茅葺の建物は次の農閑期に修復する方向である。

**問** 日本語学校の設立は

**答** 民間主導で支援に限界

**問** 廃校を利用した日本語学校の町民説明会に町長も参加したが、どのような関わり、考えをもって参加したのか。

**答**（町長）

民間が行う事業が町の活性化に資するのであれば支援の検討が必要と考えた。廃校の利用などについては、町での活用や幼稚園・保育園の近くに日本語が話せない外国の方が居住することに対する不安への配慮も必要であり、財政的に厳しい中で、事業者への支援は限られたものになる。

次の定例会は、3月6日(水)からの予定です。

## 議会のらびき

### 10月

6日 賀茂郡町議会議長会議(東伊豆町)  
10日～12日 常任委員会視察研修(岩手県)  
13日 賀茂地区市町議会議員研修会(松崎町)  
17日 静岡県町村議会議長会総会(静岡市)  
22日 常任委員会斎場視察(伊豆の国市)  
26日 議会だより第141号発行

### 11月

2日 議会全員協議会  
10日 住民懇談会  
13日 議会全員協議会  
24日 重要問題懇談会  
27日 第4回臨時会  
28日 議会運営委員会・広報編集委員会  
下田地区消防組合議会臨時会  
29日 全国町村議会議長全国大会(東京都)  
30日 賀茂郡町議会議長会県外視察研修(東京都)

### 12月

5日～7日 第4回定例会  
19日 西豆衛生プラント組合議会定例会  
25日 伊豆縦貫期成同盟会県要望活動(静岡市)  
27日 南伊豆地域清掃施設組合議会臨時会  
28日 議会全員協議会

表紙の写真「消防団出初式一斉放水」は文化協会写真部より提供。

#### 発行責任者

議長 深澤 守

#### 編集委員長

田中道源

#### 編集委員

藤井昭一  
菜野良枝  
高橋良延  
小林克己  
高柳孝博  
藤井要



この人に  
聞きました<sup>③</sup>  
キッチンカー マサラッポ  
金野恭平さん  
愛樹さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎町へ移住してキッチンカーを営む金野さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

1年半前に埼玉から松崎町に移住しました。最初にこの町に来たときに、物件がなくて困っていたところを「とんび農園」の鈴木さんから紹介してもらい、移住することが

できました。今は、世界17カ国を旅した経験などを生かし、「マサラッポ」というフイリピン料理を中心とした多国籍料理を提供するキッチンカーを営業しています。主に、火・木・土曜日に長八記念館の駐車場で営業中です。ぜひ、鮮度抜群の野菜などを使った料理を味わってみてください。

○課題や今後の活動は、

営業できる場所に困っています。将来的には、

キッチンカーをいろんな場所で出店したいです。

○町に望むものは、

キッチンカーなどの事業者向けに、観光施設などの一角を営業スペースとしてお借りできればありがたいです。また、子どもを預けられる環境が充実していないので、学童保育の充実や、土日に子どもを預けられるところがあると助かります。

(聞き手 編集委員長)

## 海鳴り

町は昨年度、第6次松崎町総合計画を策定し、「ここでは、誇り高く、穏やかに、豊かに生きられるコンパッションタウン松崎」(困難な課題を分かち合い、お互いに助け合う)を将来像にまちづくりを進めています。

コンパッションとは、特別な言葉ではなく、土屋三余翁が三余塾の教育の基本とした「恕」だと思っています。「恕」とはどんなときでも、いつでも相手の身になって考える優しさ、思いやりを意味し、私たち日本人が日々の生活の中で実践をしている考え方だと思います。

地域のコミュニティーの再生など多くの課題はありますが、地域住民と行政の協働によってコンパッションタウン松崎の実現は可能です。

(議長)